学校番号	2004

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	歴史総合　近代から現代へ　改訂版(山川出版社)						
副教材等	新詳　歴史総合（浜島書店），新歴史総合要点ノート(啓隆社)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史総合では，近代から現代の世界史と日本史を比較・関連づけながら学習してきます。主体的に学び、歴史的思考力を高めることを目的とし、単なる知識の習得にとどまらず、「なぜその出来事が起こったのか」「それが現代社会とどうつながるのか」を問いながら学ぶことを重視します。歴史の学習を通じて，社会的事象の見方・考え方を身に付けていきましょう。

２　学習の到達目標

(１)近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界と日本の関わり，それぞれの独自性や共通性などから捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，史料やデータから歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
(２) 近現代の歴史に関わる事象の意味や意義，特色などについて様々な側面や角度から捉え，自分の考えを論理的に説明する力，他者の主張を基に議論する力を養う。
(３) 近現代の歴史に関わる諸事象について関心を持ち，主体的に学習に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	歴史の事象や歴史に見られる課題について，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目しながら多面的・多角的に考察し，考察したことを効果的に表現している。	歴史の事象や歴史に見られる課題に主体的に追究しようとしている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	歴史の扉	(1)歴史と私たち (2)歴史の特質と資料	a: 私たちの生活が，日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解している。 b: 資料から，時期や立場による書かれ方の違いなどを判断し表現している。 c: 身近な題材を通じて，歴史との関連を追究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート
	近代化への問い	①交通と貿易 ②産業と人口 ③権利意識と政治参加や国民の義務 ④学校教育 ⑤労働と家族 ⑥移民	a: 近代化における特徴について，資料を通して理解している。 b: 様々な資料から，近代化の特徴について考察し，表現している。 c: 近代化の特徴について，変化や背景など見通しをもって追究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート
	結びつく世界	①アジア諸地域の繁栄と日本 ②ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出	a:18 世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と，日本への影響について理解している。 b:18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 18 世紀のアジア諸国とヨーロッパ諸国の経済が互いに与えた影響について，比較や関連付けをしながら追究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート
	国民国家の形成	①ヨーロッパ経済の動向と産業革命 ②アメリカ独立革命とフランス革命 ③19 世紀のヨーロッパ ④19 世紀のアメリカ大陸 ⑥西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民地化 ⑦中国の開港と日本の開国	a: 市民社会と国民国家の形成，資本主義社会と国際分業体制確立の経緯を理解している。 b:市民革命および産業革命の経緯などから，諸改革の意義と現在社会との関わりを考察し，表現している。 c:市民革命や産業革命が現代社会に与えた課題について，解決策を追究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート
	明治維新と日本の立憲体制	①明治維新と諸改革 ②明治初期の対外関係 ③自由民権運動と立憲体制	a:明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について理解している。 b:明治維新の歴史的な意義について，現代の日本への影響と関連付けて考察し，自分の言葉で表現している。 c:明治維新やアジア諸国の変容が，現代社会にどのような課題を与えたかについて考察し，解決策を追究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート

前期	帝国主義の展開とアジア	①条約改正と日清戦争 ②日本の産業革命と教育の普及 ③帝国主義と列強の展開 ④世界分割と列強の対立 ⑤日露戦争とその影響	a: 列強の進出と植民地の形成，日清・日露戦争などを基に，列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。 b:帝国主義政策の特徴，列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 19 世紀末～20 世紀初頭の世界の歴史の変化に関わる諸事象について考察し，追究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート
後期	近代化と現代的な諸課題	①自由・制限 ②開発・保全	a:現代的な諸課題の形成に関わる近代化の特徴を理解している。 b:主題に対して，史資料を用いて根拠を示して，自分の言葉で表現している。 c:近代化に関連する現代の課題について考察し，歴史的な経緯を踏まえたうえで解決策を追究しようとしている。	定期考査	レポート	レポート
	国際秩序の変化や大衆化への問い	①国際関係の緊密化 ②アメリカ合衆国とソ連の台頭 ③植民地の独立 ④大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化 ⑤生活様式の変化	a:国際秩序の変化や大衆化にともなって生活や社会のあり方が変化したことを理解している。 b: 資料を活用して，国際秩序の変化や大衆化にともなう生活や社会の変容について考察し表現している。 c:複数の資料を比較したり関連づけたりすることを通じて，興味・関心をもったことなど主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート
	第一次世界大戦と大衆社会	①第一次世界大戦とロシア革命 ②国際平和と安全保障 ③アジア・アフリカ地域の民族運動 ④大衆消費社会と市民生活の変容 ⑤社会・労働運動の進展と大衆の政治参加	a:国際関係の視点を軸に，第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と，参戦各国の社会の変化について理解している。 b:第一次世界大戦の総力戦体制下において，列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかを考察し，自分の言葉で表現している。 c:勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が，現在の社会にどのようにつながり，どのような課題を生み出したのかについて考察し，解決策について追究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート

後期	経済危機と第二次世界大戦	①世界恐慌の発生と各国の対応 ②ファシズムの台頭 ③日本の恐慌と満洲事変 ④日中戦争と国内外の動き ⑤第二次世界大戦と太平洋戦争	a:世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について，大衆とマスメディアの関わりに着目しながら理解している。 b:ファシズム体制の形成から終戦に至るまで，ドイツや日本で大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し，自分の言葉で表現している。 c:大衆の戦争への加担という問題を現代社会における課題としてとらえ，その解決策を追究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート
	戦後の国際秩序と日本の改革	①新たな国際秩序と冷戦の始まり ②アジア諸地域の独立 ③占領下の日本と民主化 ④占領政策の転換と日本の独立	a:55 年体制の形成から高度経済成長に至る日本の動きを，冷戦下の国際情勢を踏まえながらその中に位置づけて理解している。 b:冷戦下の日本と世界の動向について，政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し，自分の言葉で表現している。 c:冷戦期における各国の動向，現在の社会においてどのような課題を生み出したのか考察し，解決策について追究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート
	現代的な諸課題の形成と展望	①対立・協調 ②平等・格差 ③統合・分化	a:対立・協調，平等・格差，統合・文化の観点から現代的な諸課題に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解している。 b: これまでの学習を振り返り，諸資料を活用して，現代的な諸課題との関連を考察し，探究した結果を表現している。 c: 自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに，次の学習へのつながりや課題を見出そうとしている。	定期考査	レポート	レポート
	グローバル化への問い	①冷戦と国際関係 ②人と資本の移動 ③高度情報通信 ④食料と人口 ⑤資源・エネルギーと地球環境 ⑥感染症 ⑦多様な人々の共存	a: 現代のグローバル化にともなう生活や社会の変容について理解している。 b:資料を活用して，グローバル化にともなう生活や社会の変容について考察し表現している。 c: 複数の資料を比較したり関連づけたりすることを通じて，興味・関心をもったことなど主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート

後期	冷戦と世界経済	①集団防衛体制と核開発 ②米ソ両大国と平和共存 ③西ヨーロッパの経済復興 ④第三世界の連携と試練 ⑤55 年体制の成立 ⑥日本の高度経済成長 ⑦核戦争の恐怖から軍縮へ ⑧冷戦構造のゆらぎ ⑨世界経済の転換 ⑩アジア諸地域の経済発展と市場開放	a:1960 年代から80 年代を中心に，冷戦下における各国の政治的・経済的選択と経済成長について理解している。 b:各国の選択を比較し，「東アジアの奇跡」が起こった要因や世界史における意義について考察し，自分の言葉で表現している。 c:冷戦下における各国の政治的・経済的選択が，現代社会にどのような課題を生み出したのか考察し，解決策について追究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート
	グローバル化する世界	①冷戦の終結と国際情勢 ②ソ連の崩壊と経済のグローバル化 ③開発途上国の民主化と独裁政権の動揺 ④地域紛争の激化 ⑤国際社会のなかの日本	a:冷戦終結の過程とグローバル化の特質について理解している。 b:グローバル化の進展や地域統合，ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し，その特質や問題点を自分の言葉で表現している。 c:冷戦の終結とグローバル化の進展がどのような課題を生み出したのかについて考察し，解決策について追究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート
	現代の課題	①現代世界の諸課題 ②現代日本の諸課題	a: 日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けながら，現代の諸課題の特徴について理解している。 b:これまで学習した内容から問いを設定し，教科書や他の資料を用いてまとめた上で，課題の解決へ向けた自分の見解を表現している。 c:自ら設定した問いに対し，学習して身に付けた知識や教科書，その他の史資料を活用して，課題の解決のために，主体的・計画的に探究学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度